

## 地域貢献・連携分科会 2008年度第1回 議事要旨

- 1 開催日時：2008年5月22日（火） 18:30～20:30
- 2 場所：(株)日立製作所 日本生命丸の内ビル（NMビル）23階会議室
- 3 出席者：(敬称略) 鍵屋(座長)、磯打、荒井、小林、寿乃田、徳江、山口、的屋、五辻、伊藤、石井(議事録作成) 11名参加

### 資料

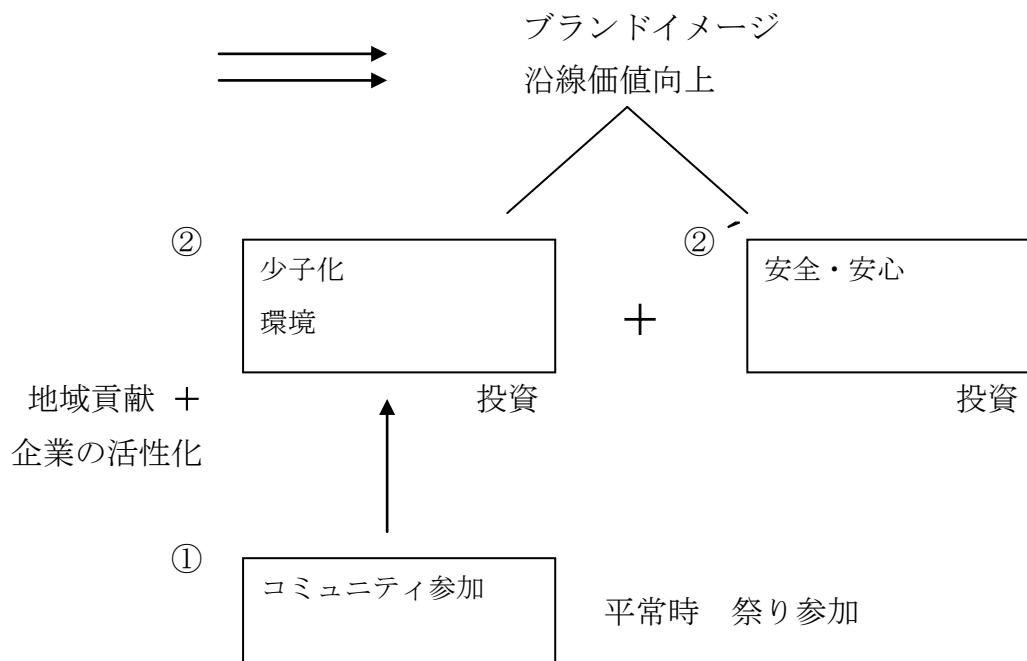
- ・ はじめに 分科会の趣旨、本年度の活動と主な成果（鍵屋さん）
- ・ 企業・組織にとっての地域貢献・連携の意義－修正版（小林さん）
- ・ 東京商工会議所アンケート（磯打さん）
- ・ BCAO アンケート（磯打さん）
- ・ 国民運動報告書（磯打さん）
- ・ 被災地での企業の地域貢献的活動－阪神・淡路大震災（鍵屋さん）
- ・ 沿線価値向上と災害時の地域連携（荒井さん）
- ・ 安心安全への取り組みにより企業業績が向上（寿乃田さん）
- ・ パルシステム住まいの耐震化推進会議(的屋さん)
- ・ 地域継続における企業・組織の役割（山口さん）
- ・ 記載事例集

### 4 議事概要

#### (1) 資料作成者より内容説明

#### (2) 主な議論

- ・ 「企業・組織にとっての地域貢献・連携の意義」について、図1－1は地域貢献・連携の意義を的確に表現したものとなっている。説明部分を膨らませてより詳しく解説するようにしたい。
- ・ 東京商工会議所アンケート(対象：中小企業)とBCAOアンケート(対象：大企業)は対象・規模が異なる事ので、注意して読む必要である。
- ・ 地域貢献による地域価値の向上の好例として、京王電鉄の取り組みは分かりやすい。「企業・組織にとっての地域貢献・連携の意義についての図1－1」に沿った説明とする。  
「点から線へそして面へ」、「駅という拠点から網へ拡大している」  
会社として投資し、株主へ説明している。住民アンケートも行なって調査している。



沿線で住む人が少なくなるのではと、危惧している。

沿線の住みやすさの向上

平常時は沿線の神社仏閣のイベントに参加

安全安心の取り組み → 地域価値の向上

- ・ 「安心安全への取り組みにより企業業績が向上」の6. 「安心安全情報連絡会」で連携を強く打ち出したい。
- ・ ケーブルテレビは多チャンネル化が方針であったが、安心安全の番組を提供する事で、解約率が低下した。→ 業績に寄与している。  
→ 企業価値の向上・評価に結びついた。  
言葉を補足し、客観的に書く。

- ・ 「地域継続における企業・組織の役割」に関して  
阪神は都市の復興は2～3年と早かったが生活の復興は遅かった(10年)  
地域の重要拠点は何か？  
地域 → 自治会  
企業 → 本社  
ライフスタイルの中で重要なもの → 役所が担っているもの  
人間の生活で重要なサービスを提供する拠点  
地域連携 → 生きるうえで必要となるもの

- 一例ではあるが、建設業の経営事項審査のポイントで防災にたいする取り組みの評価が見直された。
- 士業団体の「復興まちづくり」や福祉関係団体の区との協定があるが、企業が復興まちづくりに入らないと、と言いながら復興のコアメンバー団体が未だ分からない・形が整っていないのが現状。
- 「地域継続における企業・組織の役割」の記載は読み応え充分で盛り沢山となっている。

### (3) 宿題

次回までに、記載事例集 テンプレートの検討

- 5 次回開催：6月19日（木曜） 18：30から  
（株）日立製作所 日本生命丸の内ビル

以 上